

2014 年度第 1 回日仏関連学会連絡協議会

日時：2014 年 6 月 16 日（月）18 時～19 時 30 分

場所：日仏会館ホール

報告事項

1) 日仏会館助成事業の件

日仏会館学術研究助成（原則として 1 件）70 万円

日仏学者交換招聘（2 件）航空運賃上限 20 万円、滞在費上限 1 日 2 万円上限 20 万円

人文社会系セミナー招聘（2 件）

2) 2014 年度渋沢・クロードル賞の件

3) 今年度の事業計画の件

日仏文化講座、日仏シンポジウム、日仏科学シンポジウム、日仏春秋講座、人文社会系セミナー、日仏学生フォーラム、フランス語コンクールなど

4) その他

協議事項

1) 諸学会と会館の協力の件

学会から会館への要望

共催・後援事業について

関連学会メーリングリスト、日仏会館ウェブサイトの活用について

2) 諸学会と会館フランス事務所の協力の件

クリストフ・マルケ所長との意見交換

3) その他

2014年度第1回日仏関連学会連絡協議会（6月16日）

学 会	出 席 者
日仏生物学会	浜崎 浩子(総務幹事)
日仏理工科会	欠席
日仏医学会	岩田 誠(会長)
日仏農学会	欠席
日仏東洋学会	彌永 信美(評議員)
日仏工業技術会	欠席
日仏社会学会	杉山 由紀男(理事)
日仏法学会	齋藤 哲志(幹事補佐)
日仏歴史学会	坂野 正則(庶務担当幹事)
日仏経済学会	欠席
日仏音楽協会	金澤 千鶴子(事務局)
日仏海洋学会	小松 輝久(会長)
日仏演劇協会	欠席
日本フランス語・フランス文学会	柏木 隆雄(会長)、山田 広昭(幹事長)
日仏政治学会	中村 雅治(理事)
日仏図書館情報学会	安江 明夫(会長)
日仏美術学会	三浦 篤
日仏薬学会	儀我 久美子(副会長)
日仏哲学会	欠席
日仏ギリシア・ローマ学会	欠席
日仏地理学会	濱田 真之(会長)
日仏教育学会	古賀 毅(理事)
日仏経営学会	欠席
日仏獣医学会	池田 忠生(庶務幹事)
日仏女性研究学会	加藤 康子、木村 信子
日本フランス語教育学会	明石 伸子(理事)
日本仏学史学会	中山 裕史(監事)

日仏会館フランス事務所	クリストフ・マルケ(所長)
-------------	---------------

公益財団法人日仏会館	廣田 功(座長)、北村 一郎(学術委員長)、 三浦 信孝(文化事業委員長)
------------	--

オブザーバー

ABSCIF	太田 正光(会長)
ABC	廣田 功

「日仏会館学術研究助成」の創設のお知らせ

日仏会館では、このたび、公益財団法人化と中長期的な財政見通しとを踏まえたうえで、日仏関連諸学会との関係を一層緊密にするために、新たなコンセプトに基づいて、2014年度から「日仏会館学術研究助成」を発足させることとなりました。

詳しくは下記の要領に譲りますが、この助成にもとづいて研究をしていただき、その成果を日仏会館において公表していただくというコンセプトです。かつ、場合により、この成果公表は、日仏会館の事業の一環として共催により行うことが可能です。

これに伴い、旧「日仏共同研究」は、打ち切りと致します。これは、石橋財団からの助成を前提として日仏関連学会にフランス側との共同研究をしていただく趣旨のものでしたが、同財団からの助成が公益財団法人化に伴い打ち切られ、その後2年間は日仏会館が補填措置を講じてきましたものの、今後も続けることには困難が伴うためです。

記

助成の態様とその手順

助成は1件につき70万円とする。最大2件までの助成があり得る。

申請は別紙の様式による。申請の〆切は10月末とし、11月の学術委員会で決定して、12月初めに発表する。助成を受けた学会は、翌年4月からの年度内に研究計画を実行する。

助成を受けた関連学会は、研究期間終了後3カ月以内に、日仏会館に研究成果の概要と会計報告（別紙参照）を提出する。

研究計画の内容

成果の公表は日仏会館において行われるため、会館が支援する事業としてふさわしい計画内容であることが望ましい。

フランス研究またはフランスを軸とする比較研究が対象であることは勿論であるが、フランス側研究者との共同研究は絶対的条件とはしない。

申請は単独でも可能であるが、他の学会（日仏関連諸学会以外の学会も妨げない）との共同の企画による申請は、審査において特別に考慮される。

研究成果の公表

この助成により研究を行った関連学会は、当該年度またはその後の年度に、研究成果の公表を日仏会館において行う。日仏会館は、会場を提供する。

ただし、日仏会館は、この成果公表につき、主催学会の同意により、日仏会館の事業枠（たとえば日仏文化講座）を用いて共催で行うことができる。

備考

申請学会は、この「日仏会館学術研究助成」の申請と同時に、同じ計画に関して外国人招聘プログラムなど日仏会館の他の助成費目に申請を行うことを妨げない。但し、後者の申請が多数にのぼる場合には、学術委員会の審査に際して必ずしも優先されない。

学術委員会は、助成の審査に際して、関連諸学会の間でのローテーションを絶対的基準とはしない。良い企画ならば、優先的に考慮される。

2015年度 日仏会館学術研究助成申請書

年 月 日

公益財団法人日仏会館
理事長 松浦晃一郎 殿

学 会 名
代 表 者
所 在 地 〒

印

電話番号
メールアドレス

研究プロジェクト名		
研究責任者	名前	
	所属	
	電話	
	メールアドレス	
共同研究者		
概要・目的		
研究計画		
成果報告の時期と方法		
予算及び資金計画		
他の助成の申請状況		
特記事項		

年度 日仏会館学術研究助成報告書

年 月 日

公益財団法人日仏会館 松浦晃一郎殿

所 属 学 会		代表者氏名	印
研 究 課 題 名			
研 究 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日		
研 究 概 要 (研究集会の記録等)			
支出内訳 (単位 : 円)	経費項目		
	物品費		
	旅費		
	謝金等		
	その他		
	合計		

研究期間終了後3カ月以内に提出のこと。
領収書のコピーを別紙に添付して下さい。

2015 年度日仏学者交換に関する候補者推薦について

公益財団法人日仏会館

2015 年度日仏会館の日仏学者交換につき、候補者をご推薦下さい。

学者招聘

業績の注目されているフランコフォンの研究者で、日本において日仏会館その他各地の大学等で講演、セミナー等を開き、日仏学術交流推進に寄与していただける方に、日仏間の往復航空運賃及び 1 日 2 万円（10 日分以内）の滞在費 を助成します。

離日後、日本側招聘責任者から報告書をご提出いただきます。

- ・ 2015 年予算年度（2016 年 3 月末日まで）に事業（報告書提出を含めて）を完了して下さい。
- ・ 招聘責任者は日仏会館の会員であることを要します。
- ・ 往復の航空券は上限 20 万円までとします。
- ・ 申請締切 2014 年 10 月 31 日（金）

申請書類の形式は任意ですが、必ず次の事項を記載して下さい。

- a. 招聘希望者の姓名、役職（肩書）、専門分野、主要著作リスト
- b. 日本側招聘責任者（姓名、役職、連絡先）
- c. 来日希望の時期と滞日中の学術交流予定

原則として、学者交換は招聘のみとします。特別な事情で学者派遣を申請する場合は、招聘に準じた形式で申請して下さい。

2015 年度人文社会系セミナーの招聘事業の御案内

日仏関連諸学会の皆様におかれましては、常々日仏会館の活動に御協力いただきまして、まことに有難うございます。

さて、日仏会館では、2012 年度から、人文社会科学若手研究者セミナーの枠組においてフランス人研究者を招聘して講演会を開催するという試みを、フランス事務所およびフランス大使館と共同して行っております。研究者招聘に関しては、以前より日仏学者交流の枠組がありますが、それとは別に、大使館のイニシアティヴにより人文社会科学分野の気鋭の研究者を 2 名招聘し、会館での講演会・セミナーおよび大学での講演会の開催を通じて、日本の研究者の方々と交流をしていただくという趣旨の企画です。

開催態様は、当年度も例年同様に、一人につき 8 日間の滞在中に 4 回の講演会——日仏会館での通訳付き講演 1 回、日仏会館若手研究者セミナー 1 回（会館からの通訳はつきませんが、独自に通訳を確保されることはもとより可能です）、受入大学での講演またはセミナーを 2 回（または 2 つの大学で 1 回ずつ）——を開催していただくことが望まれます。

この企画の申請は、学会単位ではなく広く個人単位でお願いします。従いまして、日仏会館と協力における招聘および講演開催を希望される大学教員を募集しますので、貴学会の会員の方々に、この企画を御周知下さいますようお願い申し上げます。

応募される方は、以下の情報を、2014 年 10 月 31 日（金）までに、日仏会館事務局にお知らせ下さい（事務局アドレス：bjmfj@mftokyo.or.jp）。

- 1) 招聘を希望されるフランス人研究者の氏名・所属・簡略なプロフィール
（但し、研究者とのコンタクトは、大使館とフランス事務所とで行いますので、事前の御接触は必要ありません）。
- 2) 招聘責任者および協力者の氏名・所属・連絡先

応募される場合の留意事項は、以下の通りです。

- 1) 招聘は、2015 年 4 月～2016 年 3 月の間に御予定下さい。
- 2) 招聘費用については、日仏会館・フランス事務所・フランス大使館で、渡航費・滞在費・会館主催の場合の経費を負担しますので、受入大学において 1 回 3 万円程度の謝金を御用意いただくだけで充分です。
- 3) 選考は、2014 年 11 月の日仏会館学術委員会（フランス事務所長も含む）において、フランス大使館文化部の代表者の参加を得て行います。
- 4) 審査にあたっては、招聘対象者の著作が翻訳されているか翻訳計画があることが好意的に評価されますが、翻訳の有無は絶対的規準ではありません。

以上のように、若手育成を念頭においた日仏学術交流に熱意のある方が参加して下さることを期待しております。関連諸学会から会員の皆様への御周知をよろしくお願い申し上げます。

2014 年 6 月

日仏会館学術委員会

2014年度(公財)日仏会館学術・文化事業

	種別	分類	日程	タイトル・登壇者等
学術事業	シンポジウム	日仏シンポジウム	6/7(土)パリ開催	渋沢・クローデル賞創設30周年記念パリシンポジウム「日仏学術交流の未来」
			6/29(土)30(日)	日仏文化協力90周年記念日仏文化サミット「変化する世界と日仏協力の未来」
			11/1(土)2(日)	フランスと日本における考古学・文化財とアイデンティティ(仮)
		日仏文化講座	10/18(土)	ヨーロッパ市民権のゆくえ—人権と民主主義のヨーロッパ—
			1/31(土)	美術を哲学する—現代フランス思想とイメージ(仮)
		科学シンポジウム	12/6(土)	埋蔵エネルギー「潮流発電」高木 健 「バイオマス発電」倉橋みどり氏 「メタンハイドレート」未定
		日仏科学講座	未定	未定
	対談	日仏春秋講座	10/1(水)	第一次世界大戦の記憶(高橋哲哉)
			10/24(金)	(オリヴィエ・ポー、樋口陽一)
	セミナー	人文社会系セミナー	6/21(金)	De Rousseau à Rawls. La théorie de la justice comme “utopie réaliste”? Claire SPECTOR
			6/30(月)	「労働と家族の間における男女—日仏の現状報告」(同時通訳あり)ドミニク・メダ、大沢真理、水町勇一郎、宇野重規、J-M ビュテル
			7/6(日)	宮代康文 中村隆之 馬場智一 伊達聖伸
			未定	フランソワ・ヌーデルマン講演
			未定	フランソワ・ヌーデルマンセミナー
	講演会	科学講演会	7/2(水)	ヒッグス粒子(浅井祥仁)
	顕彰	渋沢・クローデル賞	授賞	本賞:泉美知子 LVJ特別賞:橋本周子
			記念講演会	日程未定
	出版	日仏文化84号	2014年内発行予定	渋沢・クローデル賞30周年記念号
文化事業	講演会	仏文化講演シリーズ	5/16(金)	第278回憲法改正か解釈改憲か(南野森、井上武史、山元一)
			5/29(木)	第279回千曲側ワインパレー—日本農業の新しいかたち(玉村豊男)
			9/19(金)	第280回加藤周一記念講演会(水村美苗)
			10/22(水)予定	第281回アンドレの翼朗読会
			10月~11月	第282回関口涼子講演会
			11月~12月	第283回片桐庸夫講演会
			未定	第284回
			未定	第285回
			未定	第286回
		特別講演会	5/27(火)	フランスをはじめとする欧州及びアフリカ訪問に同行して(安陪昭恵、松浦晃一郎)
	美術	美術講演会	9/29(月)	レオナルド・ダヴィンチとフランス(フランソワ・サンプリ)
	音楽	フランス音楽のタベ	9/12(金)	林千恵子リサイタル「フランス詩を歌う」
			12/1(月)	メシアン(片山杜秀 大井浩明pf)
	映像	映像と講演	7/7(月)	薔薇のスタビスキー
			未定	未定
			2月~3月	恵比寿映像祭地域連携企画として
	講座	日仏教養講座		テーマ:シャンソン(中村敬子)
		食文化講座	5/26(月)	第4回 プロヴァンス地方の料理と食文化
			未定	第5回 未定
			未定	第6回 未定
			未定	第7回 未定
		若手ビジネス講座	4/24(木)	第4回(岐阜県知事 古田肇)
			7/8(火)	第5回 ITで文化を守る (株式会社ぐるなび代表取締役会長 滝久雄)
			未定	第6回 未定
			未定	第7回 未定
	学生交流	日仏学生フォーラム	8月4日~17日	
	顕彰	フランス語コンクール	11/15(土)	(上級) Le Japon que j' aime, le Japon que je n' aime pas (中級) La famille, aujourd' hui

・(公財)日仏会館主催事業のみ記載

・2015年2月27日~3月8日に開催される恵比寿映像祭に共催する予定。前後数日も併せてホールとギャラリーを使用します。